

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都杉並区高円寺南 4-2 6-1 6 ビクトリアプラザ高円寺 3 階
氏 名 株式会社ビノーコーポレーション 代表取締役 谷井さとみ

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第 5 章 1 (1) ①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			中野区民間学童クラブビノキオハウス									
2	学童クラブの所在地			郵便番号	165-0021		住所	東京都中野区丸山1-6-3					
3	設置・運営形態			民 設 民 営									
4	設置主体	名称		株式会社ビノーコーポレーション									
		住所		郵便番号	166-0003		住所	東京都杉並区高円寺南 4-2 6-1 6 ビクトリアプラザ高円寺 3 階					
		代表者		代表取締役 谷井さとみ									
5	運営主体	名称		株式会社ビノーコーポレーション									
		住所		郵便番号	166-0003		住所	東京都杉並区高円寺南 4-2 6-1 6 ビクトリアプラザ高円寺 3 階					
		代表者		代表取締役 谷井さとみ									
6	学童クラブ事業開始年月			平成	28		年	4		月			
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	8		年	4		月			
8	支援単位ごとの状況 (※1)	中野区民間学童クラブ ビノキオハウス	専用区画面積	(部屋名)	89.08		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)				3.18	m ²
			児童数	28 名									
			職員体制	放課後児童支援員 (常勤)		3 名		放課後児童支援員 (非常勤)		0 名			
				補助員 (常勤)		0 名		補助員 (非常勤)		3 名			
9	開所時間	平日	放課後から		19:30		まで						
		土曜日・長期休業期間	8:00	から	19:30		まで						
10	国庫補助の有無			有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有									
13	長期休業期間中の昼食提供		有	夏季休業期間	35	日間提供		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (学童クラブによる手配)				
					36	(夏季休業期間の全日数)							
				冬季休業期間	5	日間提供		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (学童クラブによる手配)				
					13	(冬季休業期間の全日数)							
				春季休業期間	13	日間提供		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (学童クラブによる手配)				
					13	(春季休業期間の全日数)							
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有 (別紙様式 2 のとおり)										
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有 (別紙様式 2 のとおり)										
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有	令和	12	年度	受審予定					
16	直接契約の有無 (民設民営の場合のみ)			有									
17	利用料	月額	5600	円									
		協議書提出有無 (月額利用料 14,000 円を超過する場合)											

※ 1 支援単位が 2 つ以上となる場合は、第 1 号様式乙に記載ください。

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
・こども会議 ・お誕生日会のおやつ、レクリエーション決め ・わくわくデー（こどもたちのやりたいことを実施する日） ・お楽しみ工作の内容決め ・年末こどもアンケート ・工作材料買い出し ・ハロウィン衣装作り ・クリスマスプレゼントアンケート 等	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数	具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日	・活動部屋にて、サッカーやドッジボール、鬼ごっこ、キャッチボールなどを日々行っているとともに、希望者が集まれば、ブランコやターザンロープ、吊り輪などを出して遊んでいる。 ・公園に行くことも多く、公園でもサッカーや鬼ごっこ、缶蹴り、だるまさんが転んだ、虫捕りなどを行うとともに、公園に設置された遊具で遊んでいる。
「製作活動等」	毎 日	・ぬりえや廃材などを使った工作を日々できるようにしており、こどもたちは、完成したぬりえでごっこ遊びをしたり、自作の小さな絵本を作ったり、廃材などを切り貼りした作品を作ったりしている。また、月に一度、こどもたちと工作材料の買い出しに出かけており、欲しいもの・必要な物を聞きながら製作環境を整備している。
「地域の文化等に触れる体験」	2～5 回	・毎年、野方地区まつりの作品展に、こどもたちの作品を出展していると共に、地区まつり開催期間中に希望者の募って見学に行っている。 ・10月終わりにはハロウィンイベントとして（希望した子たちは仮装して）商店街を練り歩き、地域の施設・商店の方からお菓子を頂いている。 ・3月終わりには遠足に行っており、こどもたちの現状や希望に合わせ、ビジターセンターや博物館等、地域施設を訪れることもある。 ・土曜日には、近隣公園で開催されているプレーパークに遊びに行くことあり。
「自主学習」	毎 日	・学校帰りの子どもたちの多くは登室後、学校の宿題を終わらせたのち、自由遊びをしている。また、中には、塾の宿題を持ってきて行っている子がいるとともに、スタッフに問題を出してもらって取り組む子もいる。 ・夏休み等の学校休業日には、午前中、勉強タイムの時間を設け、取り組むようにしている。
「児童の意見を反映させた行事」	27 回	こどもたちの意見・希望が反映され主体性が発揮されるように、こどもたちを巻き込んだ行事づくりをしており、アンケートや口頭にて意見を聞くとともに、時にはこどもリーダーを募集したり、司会等の役割を任せたり、準備を共に行ったりしている。 実施例：おばけ屋敷、○×ゲーム、ビンゴ、サッカー大会、ドッジボール大会、ツイスターゲーム、読み聞かせ、みんなで折り紙 など

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----